



MBニュース



【中国産草菇,栽培面積減少に悩む】

丸松物産株式会社

8月号では、弊社仕入先から得た中国産草菇情報を報告しましたが、弊社貿易部員を草菇の産地福建彰州地区に派遣させ、調査を行った結果を報告します。近年の同地区における草菇の栽培ハウスは、新規に開発される工業団地のため、栽培ハウスが次々に取り壊され、産地の生産業者は、収穫量の減産に悩まされております。そのために、一部の生産業者は新産地を求め、北部に位置する河南省で栽培指導を行っておりますが、原料の安定供給に苦労しているようです。このような状況のために国内の輸送費に余分な負担が掛かり、彰州地区の加工工場の生産コストは上昇し、今後の製品価格に影響を及ぼすのは必至とみられております。

栽培ハウスの視察を行った農家の話によると「栽培面積1㎡あたりのコストは約40元以上掛かるが、1シーズンの収穫量は5~6斤(1斤=500g)で生鮮市場では、高くても5~6元/斤でしか販売できずに、毎年赤字になっており、この赤字は、草菇を栽培した後に、マッシュルームを生産することで補っている」と話しておりました。農家にとっては、草菇だけの栽培では採算がとれないとのことでした。

ハウス栽培風景



【労働力をめぐる争奪戦、外資系企業の優勢が失う一途】

高齢化と出生率の低下とともに、中国の労働力をめぐる企業の争奪戦が激化している。中国人社員にとって、外資系企業が持つグローバル市場とのつながりは魅力的だったが、中国企業のグローバル化が進み、外資系企業の魅力が低下しつつある。外資系企業での勤務を希望する中国の卒業生は、2013年の時点では38%に達していたが、2014年には21%まで低下した。チャイナネットが伝えた。

中国の大卒者は就職の際に、高い給料と出世の機会を最も重視している。西側諸国の企業は依然として、企業文化や人間関係を、職場の魅力の最も重要な要素としている。中国の国有企業がグローバル企業よりも魅力的な就職先とされているのは、国が安定した収入と福利厚生を提供できるからだ。

中国の従業員は福利厚生と手当を収入の一部とする習慣を持つ。中国企業の55%は食事代を支給しており、約47%は住宅補助と交通費補助を出している。中国の全業界の賃金が、この数年間で上昇した。2014年に中国の過半数の労働者の賃金が、6-10%上昇した。

中国人労働者の業界に対する好みにも変化が生じている。製造業や建築業は長年に渡り、労働市場の主力であったが、サービス業界が台頭しこれを追い抜こうとしている。中国のサービス業は2014年に8.1%の成長率を実現し、全国の経済成長率を上回った。

外資系企業は中国人消費者向けのマーケティングのほか、就職者向けのマーケティングが必要になっている。中国人社員の間で中国企業の人気が高まる中、中国の最高の人材を手にしようとする外資系企業にとっては、自社のブランドイメージの向上が重要になっている。(編集SC)

「人民網日本語版」2015年8月3日より抜粋

【新商品情報】メンマの故郷、台湾産の原料を使用した[元祖・丸松の塩メンマ]

	商品名	塩メンマ台湾 2kg×10入り	
	商品説明	発酵・熟成を十分に行い、メンマ独特の風味・旨味を引出し、しなやかな食感の昔ながらのメンマを復活させました。	
	主要原材料	メンマ(台湾)食塩、リン酸塩(Na)、漂白剤(亜硫酸塩)	
	賞味期限	製造日より1年	
	使用上の注意	開封後は冷蔵庫(10℃以下)に入れ、10日以内にお召し上がり下さい。	